

2028年世界卓球選手権の開催準備業務委託に係る企画提案公募 質問及び回答

	該当箇所	質問	回答
1	仕様書 2(2)	「令和10年2月～3月」とありますが、現時点で内定している具体的な開催期間(特に日数)はありますか。	大会期間は、2026年ロンドン大会と同じ13日間を想定して準備を進めています。
2	仕様書 2(3)	2025年5月に、ドーハにて行われたサミットでの最終プレゼンテーションでは、開催地として福岡市・北九州市の2都市を挙げられていましたが、変更ありませんでしょうか。また、現時点で候補となっている施設があれば教えてください。	開催地については、福岡県内の一都市とする方向で調整中です。
3	仕様書 2(4)	前大会ベースでも、おおよその大会関係者(1300人)の内訳を教えてください。また総数は、640名+1300名=1,940名が対象総数となりますか？	最新の想定人数の内訳は以下のとおりです。 来日選手団・関係者(コーチ等):最大時940人程度 審判・IF運営スタッフ:120人 国内委託事業者(競技運営スタッフ):70人 その他:170人程度 計1,300人 この他に組織委員会で宿泊手配を行わない関係者見込み: テレビ中継関係者:150人 メディア(パン記者、カメラマンなど):500人
4	仕様書 4(1)①	福岡県として特に重視しているテーマ(例:インバウンド誘致、子供への普及、地域経済波及等)はありますか。	大会を通じて子どもたちが夢や希望を育むこと、国内外からの誘客による地域経済の活性化を図ること、大会を契機とした本県の魅力発信や社会課題の解決につなげることのいずれも重視していますが、今後基本計画の中で策定する大会コンセプトとしては、テーマを絞る可能性があります。また、大会開催後もこのような効果が続くようなレガシーを残したいと考えています。
5	仕様書 4(1)⑫	広報に対してR8年度(2026年度)の別予算はありますか	ありません。
6	仕様書 4(1)⑬	既に決定されている、ITTF関連の大会視察(世界卓球選手権ロンドン大会等)、会議体があれば展開ください	2026年ロンドン大会の期間中(4月28日～5月10日)、福岡県職員や日本卓球協会関係者は現地調査を行う予定です。また、5月1日～3日にロンドンで国際卓球連盟の総会や理事会が開催される予定です。
7	仕様書 4(1)	「◎」の内容については、発注者が作成した基礎資料を提供いただけるとのことですが、提供時期を教えてください	4月中旬以降、順次提供予定です。
8	仕様書 4(2)	招致計画時の事業規模及び収入想定をお教えてください	契約後、受託事業者にお伝えする予定です。